

<平成 25 年度>

土木部の取り組み実績

土木総務課	里山みどり課
道路管理課	公園課
道路補修課	交通対策課
道路整備課	用地課

■ 基本方針 ■

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤の整備や緑化の推進、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発などに取り組みます。

事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度に、中長期的な視点も加えて選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めていきます。

平成 25 年度は、JR 長尾駅橋上駅舎が 2 月に開設されたのに続き、駅前広場を完成させ、バスや自動車、歩行者など輻輳する交通の安全性の向上を図ります。



長尾駅前広場整備事業 完成イメージ

実績

- ・国の社会資本整備総合交付金を活用して、長尾駅前広場をはじめ道路や公園、河川などの都市基盤整備を行うとともに、緑化の推進や交通安全の啓発に取り組んだ。

I 重点施策・事業

◆都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備

平成 24 年度に事業着手となった新名神高速道路の整備を促進するとともに、そのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線及び淀川を渡河する新橋の整備に向けて、国・府への働きかけを強めます。

安全で円滑な交通体系を構築するため、交通結節点である鉄道駅周辺において、長尾駅前広場を平成 25 年度中に整備するとともに、津田駅東口駅前広場の整備に向けて関係機関との協議を進めます。また、都市計画道路の枚方藤阪線や御殿山小倉線、牧野長尾線などの整備を計画的に進めます。

実績

- ・新名神高速道路については、アクセス道路となる内里高野道線も含め、環境調査や設計が進められていることから、関係機関と協議・調整を図り、地域への情報発信を行った。
- ・淀川渡河橋については事業者などにさらなる働きかけを行うために、必要性や整備効果の検証を行った。
- ・長尾駅前広場整備事業は、西側の駅前広場及び東側の自転車歩行者道が平成 26 年 3 月末をもって完成した。
- ・枚方藤阪線は天津橋工区の詳細設計が完了、御殿山小倉線は地域の意向も踏まえた実施設計を発注した。また、権利者との買収に向けた協議を進め一定の方向性を確認した。
牧野長尾線は、未整備区間の詳細設計について着手した。

◆道路・公園等の効果的・効率的な維持管理

道路や公園などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所を早期に見出し、迅速な対応に努めています。

さらに、安全で快適な道路環境の保持並びに効果的・効率的な施設の維持管理を図るため、主要道路リフレッシュ事業や道路照明のLED化に取り組むとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕及び耐震化や公園施設長寿命化計画の策定に取り組みます。

また、平成24年8月の集中豪雨等を受けて、緊急体制の充実を図るとともに、道路排水施設等の整備・修繕に取り組みます。

実績

- ・主要道路リフレッシュ事業では、枚方藤阪線 970m、牧野長尾線 250m、山之上高田線 150m、長尾船橋線 310m及び岡東山之上東1号線 210mの整備を行った。
- ・道路照明灯では、約3,100灯の内、約1,600灯のLED化を行った。
- ・橋梁長寿命化対策では、ひとつや橋ほか6橋の修繕及び耐震設計を行った。
- ・平成26年度以降の公園施設の計画的な修繕を図るため、公園施設の長寿命化計画を策定した。
- ・排水施設整備では、北楠葉町、宮之阪1丁目などで側溝整備等を行った。また、台風やゲリラ豪雨対策として、過去に被害があった地域などの重点的なパトロールや側溝の清掃などの事前対応を実施した。

◆公園の整備と緑化の推進による緑豊かな都市環境の創造

人と自然との共生を図るとともに、防災機能を持った公園として、東部スポーツ公園の平成26年度野球場開設に向け造成工事を行います。また、星ヶ丘公園の自然林部分を含めた区域拡張のため、計画的に用地取得を行うとともに、津田駅東地区周辺整備の一環として公園を整備し、憩いとやすらぎの場を創出します。

市民や事業者とともに緑化を推進し、ヒートアイランド現象の緩和や都市景観の形成など、みどりあふれる魅力的な都市づくりを進めます。

実績

- ・東部スポーツ公園では、整備に向け第1期区域の造成工事に着手した。
- ・星ヶ丘公園では、1,202.3㎡の用地を取得した。
- ・津田駅前東公園では、整備工事を実施し、平成26年3月より供用を開始した。
- ・みどりあふれる魅力的な都市づくりでは、今後の緑化推進事業をさらに拡充するため「花と緑のまちづくり基金」を創設した。

◆安全・安心な交通環境の創出

人にやさしく安心な交通環境の創出のため、バスロケーションシステムによる路線バス発着情報パネルを枚方市駅に整備するとともに、平成26年度の村野駅バリアフリー化に向け取り組みます。

また、通学路などにおける安全な歩行空間の確保を図るため、JR学研都市線の交野踏切及び第一藤阪踏切の拡幅整備に取り組むとともに、車両の安全で円滑な通行のため、宮之阪3丁目東交差点の改良整備を進めます。

自転車の安全利用をはじめとする交通ルールやマナーについて、小中学校における交通安全教育など広く普及啓発を図るとともに、道路の整備にあたっては、安全な自転車通行空間の創出に向けた検討を進めます。

実績

- ・人にやさしく安心な交通環境の創出としては、路線バス発着情報パネルを枚方市駅に整備した。また、村野駅バリアフリー化では、平成26年度の完成に向け工事に着手した。
- ・踏切道の安全対策では、JR学研都市線の交野踏切と第一藤阪踏切の整備にあたって、JR西日本と協定書を締結した。
- ・精神医療センター前の宮之阪3丁目東交差点改良では、大阪府との方向性を確認し、測量設計を発注した。

【次ページへ続く】

【前ページからの続き】

- ・自転車の安全利用に向けて、市内各幼稚園・保育園・保育所・小学校において、交通安全教室を120回開催し交通ルールの遵守や交通マナーの向上に取り組んだ。また、通学路の安全性を高めるため、路側帯へグリーンラインを設置した。
- ・安全な自転車走行空間の創出では、都市計画道路枚方藤阪線の整備にあたり、関係機関との協議に基づき設計を完了した。

II 行政改革・業務改善

＜行政改革実施プラン（前期）の改革課題＞

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	公園・道路・河川の日常的な維持管理についてアダプトを推進する。

実績

- ・道路アダプトについては、新たに1団体が加入した（現在14団体）。また、平成25年10月号広報「今月のピックアップ」（特集記事）に掲載し、アダプトの推進を呼びかけた。
- ・公園アダプトについては、団体の拡大の取り組みを行い、新たに14団体が加入した（現在144団体）。

改革課題	取り組み内容・目標
27. 市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営の一元化に向け検討を進める。

実績

- ・新施設予約システムを平成25年11月から稼動したことにより、スポーツ施設の使用申込期間等の統一を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	市民からの通報や要望への迅速な対応並びに災害時におけるセーフティネットの確保などの観点も含め、技能労務職員の配置について検討を進める。

実績

- ・技能労務職員の適正な配置や在り方についてとりまとめに向けた検討を進めた。

改革課題	取り組み内容・目標
37. 指定管理者制度の導入拡大	スポーツ施設について、平成26年度の指定管理者制度の導入に向けて検討を進める。

実績

- ・都市公園有料施設の指定管理者選定を行い、平成26年度からの5年間の契約を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
41. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制 ②自動車駐車場特別会計	適切な施設保全に取り組むとともに、特別会計の運営のあり方について検証を行う。

実績

- ・特別会計の運営のあり方については、関係部署と協議し、当面現状のまま特別会計として運営する。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
道路施設維持管理事業	道路陥没等の補修依頼への迅速な対応に努めるとともに、橋梁等道路施設の長寿命化に取り組む。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 市民要望等による道路補修依頼約 4,200 件に対し、過年度分を含め、工事・修繕・委託及び直営作業等により順次対応した。また、橋梁等道路施設の長寿命化については、ひとつや橋ほか 6 橋の設計を完了した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
都市公園等維持管理事業	委託とともにスポーツ施設への指定管理の導入など、効率的な維持管理に取り組む。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 都市公園有料施設の指定管理者選定を行い、平成 26 年度からの 5 年間の契約を行った。 	

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行う。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 朝礼時において K Y K 取組目標の唱和など、事故防止について安全意識の向上に取り組んだ。 「安全十則」「安全作業の手引」の認識はもとより、危険予知活動として、安全と衛生の標語を唱和し意識啓発を行った。 産業医のアドバイス等を受け、熱中症の予防に取り組んだ。 	

テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施する。
実績	
<ul style="list-style-type: none"> 職員を対象に 3 月に安全運転講習会を開催した。 中部別館では道路補修課と公園みどり課に副安全運転管理者を各 1 人配置し、日ごろからの職員への安全運転意識の向上に努めた。 	

●その他の実績

実績
<ul style="list-style-type: none"> 道路事故の軽減のため、庁内および関連企業へ道路損傷の通報の依頼と合わせて、広報ひらかた及びホームページでの継続した呼びかけを行った。 安全運転について、交通安全運動に連携した K Y K 取組目標の唱和など啓発活動を実施した。

Ⅲ 予算編成・執行

◆部の予算は、平成 25 年度当初予算ベースでは前年度比 87.8%ですが、国の経済対策で追加された平成 24 年度補正予算を含めると 101.2%となります。

実績
<ul style="list-style-type: none"> 主な事業として、 <u>長尾駅前広場整備 (3 億 3200 万円)</u> <u>東部スポーツ公園整備 (9000 万円継続中)</u> <u>津田駅前東公園整備 (8100 万円)</u> <u>橋梁修繕・補強事業 (2000 万円継続中)</u> <u>道路照明の LED 化 (150 万円継続中)</u> <u>主要道路リフレッシュ整備 (1 億 9500 万円継続中)</u> <u>公園施設長寿命化計画策定 (800 万円)</u> <u>踏切道交通安全対策事業 (900 万円継続中)</u>
※下線事業は、交付金を充当した事業

- ◆維持管理に係る経費は前年比 100.9%ですが、道路照明の LED 化をリース方式で実施し、初期投資と電気使用量を抑えるなど、経費の低減に取り組みます。

実績

- ・道路照明約 3,100 灯のうち、約 1,600 灯を対象に LED 化を進めており、平成 25 年 11 月には約 10 年間のリース契約を締結した。

- ◆建設事業では国の交付金等を最大限に活用し、橋梁等の長寿命化や耐震化を図るとともに、重点化しながら道路・公園等の整備に取り組みます。
- ◆国の経済対策で追加された交付金等を積極的に活用し、主要道路リフレッシュ事業をはじめ、4 億 3600 万円の事業を実施します。

実績

事業費

	維持管理	建設事業	計
H24 当初	10 億 1400 万円	37 億 9200 万円 <small>【5 億 7900 万円】</small>	48 億 600 万 <small>【5 億 7900 万円】</small>
H25 当初	10 億 2300 万円	23 億 3900 万円 <small>【3 億 2700 万円】</small>	33 億 6200 万円 <small>【3 億 2700 万円】</small>
対前年比	100.8%	60.2% <small>【56.5%】</small>	70% <small>【56.5%】</small>

※各年度の事業経費は前年度補正予算の繰越額を含む

※括弧内は、交付金額

IV 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備改善から維持管理まで一貫して所管する部として、よりいっそう各課間の連携を密にし、効果的・効率的に事務事業の執行を図ります。

実績

- ・道路等に関する要望を部内で共有、確認、調整し、懸案事項についての関係課長会議を開催し、枚方市駅前の不法占用の除去や大垣内 1 号線などの用地取得などの方向性の確認をするなど、部内の連携を図った。
- ・直営作業の能力向上に向け、工作機器等の取扱いなど、道路補修課と公園みどり課と合同で講習会を実施した。

- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を行いながら、いっそう充実した態勢を整えます。

実績

- ・図上訓練を 3 月に実施した。
- ・MCA 無線の通信訓練をグループと個別に交互で月 1 回実施した。
- ・台風接近前など連絡体制の確認と災害予想状況に応じた臨時再編など対策を行った。
- ・災害時の初動対応作業の向上のため、作業機器等の取扱いなど講習を行った。

- ◆新名神高速道路やその関連事業など、広域的な事業調整の増大に対応するため、大阪府との人材交流を積極的に行います。

実績

- ・平成 25・26 年度の 2 年間、土木事業推進のため大阪府都市整備部職員 1 人の派遣を受け、府市連携事業の推進に取り組むとともに、道路整備課職員 1 人を大阪府都市整備部交通道路室に派遣し、実務研修を行っている。

- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。

実績

- ・異動者を対象とした部内研修を実施するとともに、部内報「DOBOKU TOPICS」を 4 回発行し、部内事務事業の共有化に努めた。

V 広報・情報発信

- ◆新名神高速道路をはじめ、都市計画道路・公園等の整備は、本市のまちづくりや市民生活に与える影響も大きいことから、広報ひらかたやホームページなど適時・適切に周知が図れるよう情報発信していきます。
- ◆情報をわかりやすく正確に伝える手法としてホームページは有効であることから、市民の方々への周知や普及啓発など積極的に活用するとともに、部内各課のホームページの充実を図ります。

実績

- 主な広報ひらかたへの掲載記事
 - ・新名神高速道路事業
 - ・土砂災害警戒区域の現地調査
 - ・バリアフリーの取り組み
 - ・バススタンプラリー（春と秋）
 - ・道路ふれあい月間
 - ・牧野長尾線道路冠水情報板の設置
 - ・道路照明LED化事業
 - ・長尾駅前広場整備事業
 - ・緑化フェスティバル開催
 - ・菊花展の開催
 - ・市民の森（夏季開園時間延長、花しょうぶ、スイレン株の無料配布）
 - ・公園緑化協会の解散
 - ・以楽公園春・秋の一時開放
 - ・王仁公園プールの料金
 - ・公園での喫煙マナー
 - ・府の緑化樹木の配布
 - ・春・秋の交通安全運動
 - ・夏・年末の交通事故防止運動
 - ・自転車安全利用五則など交通安全啓発
 - ・交通安全市民大会・枚方りすクラブ交通安全大会の開催
 - ・市営岡東町自動車駐車場で電気自動車充電器の利用を
 - ・自転車マナーアップ強化月間
 - ・機械式自転車駐車場の利用を
 - ・自転車の安全な利用を
 - ・牧野駅前自転車保管場所を廃止
 - ・リサイクル自転車の販売
 - ・なくそう放置自転車
 - ・自転車駐車場・自動車駐車場の利用を
 - ・自転車も賠償保険に加入を
 - ・共通駐車券システムの案内

- ホームページなどでの主な情報発信
 - ・アダプトプログラムの呼びかけ
 - ・道路施設異常の発見通報呼びかけ
 - ・バリアフリー通信を2号発行し、ホームページへの掲載と各施設への配布
 - ・市管理道路の閲覧（従来は認定道路のみ）
 - ・道路照明LED化事業（プレス発表も活用）
 - ・道路冠水情報板設置の情報
 - ・長尾駅前広場整備工事の工事箇所の切換え情報
 - ・共通駐車券システムを有名ブログサイト等にバナー広告で掲載
 - ・上記以外でも各課でホームページへの最新情報の更新などに努めた。また、道路補修工事の情報をFMひらかたに情報提供した。

- ◆工事に際しては、現場の仮囲いに完成予想図や計画平面図を掲示したり、一部をスケルトンにして工事の進捗を見ることができるようにするなど、市民の皆様の事業に対する理解を深めます。

実績

- ・長尾駅前広場整備工事と津田駅前東公園整備工事において、現場に仮囲いの一部をスケルトンにすることにより、工事の進捗状況が見れるように工夫し、また工事用フェンスに完成予想図（イメージ図）を掲示し、市民の皆様に事業に対する理解を深めるようにした。



土木部では円滑な道路交通を確保するため、道路パトロールに努めています。